

産業活性化グループ

1 商工業振興

(1) 中小企業振興資金

ア 申込み及び決定状況

種別	区分	申込み及び決定	
		件数 (件)	金額 (千円)
運転資金		75	296,750
設備資金		30	103,710
開業資金		3	16,000
借換資金		22	184,270
合計		130	600,730

イ 融資及び返済状況

種別	令和2年度末 融資残高		令和3年度 貸付実行額		令和3年度 返済額		令和3年度末 融資残高	
	件数 (件)	運用残高 (千円)	件数 (件)	融資額 (千円)	件数 (件)	返済額 (千円)	件数 (件)	運用残高 (千円)
運転	300	716,749	75	296,750	57	206,450	318	807,049
設備	109	276,484	30	103,710	12	65,506	127	314,688
開業	28	87,133	3	16,000	3	19,732	28	83,401
借換	88	404,626	22	184,270	9	122,794	101	466,102
合計	525	1,484,992	130	600,730	81	414,482	574	1,671,240

※返済額件数は令和3年度中に返済完了した件数

(2) セーフティネット保証制度

認定状況

認定対象	認定件数
中小企業信用保険法第2条第5項第4号	16件
中小企業信用保険法第2条第5項第5号	4件

(3) 東日本大震災復興緊急保証制度

認定状況

認定対象	認定件数
東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律第128条第1項第1号	0件

(4) 危機関連保証制度

認定状況

認定対象	認定件数
中小企業信用保険法第2条第6項 (新型コロナウイルス感染症の影響による)	7件

(5) 商工団体の育成及び実施状況

ア 商工会補助金

・人件費 (商工会に対する補助金算定基準に基づく。)	9,804,935円
・事業費	10,519,660円

合計 20,324,595円

イ 商工会事業実績

- ・経営指導員による巡回及び窓口・創業指導 1,114 回
- ・講習会の開催により行った集団及び個別指導 38 回 285 人
- ・経営発達支援事業

「小規模企業振興基本法」及び「商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律の一部を改正する法律」に基づき、福生市商工会経営発達支援計画の策定を行い、令和3年3月に経済産業大臣の認定を受け、管内小規模事業者の持続的な発展及び地域経済の活性化を目的に経営指導員による伴走型支援を実施した。

- ① 専門家派遣による経営課題の抽出・経営計画書策定支援
- ② 地域の経済動向調査及び小規模事業者が取扱う商品・役務の需要動向調査の分析・情報発信

- ・融資のあっせん 9 件 35,800 千円

内訳	融資制度	件数 (件)	金額 (千円)
	日本政策金融公庫	9	35,800
	東京都	0	0
	貯蓄共済	0	0
	その他の金融機関	0	0

- ・その他

東京都の重点事業

「中小企業活力向上プロジェクトネクスト」、「エキスパートバンク事業」等の東京都の小規模事業者向け施策に積極的に取り組み、実績を上げた。

地域振興事業

いいもの・いいサービス PR 事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の地域経済が疲弊しているため、複数の商工会会員事業者で合同の折込チラシを作成し、新聞折込及びポスティングにて配布した。

配布方法 新聞折込・ポスティング

配布部数 6 万部

配布日 新聞折込：令和3年12月3日

ポスティング：令和3年12月1日

Fの店推進事業

- ① “わくわく福生”を応援する街おこしまガジン「FUSSA PAPER Vol.18」を10,000部発行し、市公共施設、「Fの店」加盟店等へ配布した。
- ② メールマガジン「Fの店便り」の定期的な発信により、「Fの店」加盟店の情報を市内外へ紹介した。
- ③ JR福生駅のペDESTリアンデッキに横断幕を掲げ、駅の乗降客に対して市内事業者への誘因を促すとともに、Fの店加盟店のPRに努めた。
- ④ Fの店加盟店で使用できる「商品引換券が当たるキャンペーン」としてアンケートの実施による「お客様の声」を専門家が分析し、経営改善に役立てる取組を実施した。

福生ドッグ推進事業

- ① 市内外のイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により大多数が中止になったが、テレビ東京の番組に取り上げられるなどし、「福生ドッグ」の販路開拓支援を行い、福生市の商業活性化に努めた。
- ② 福生第一小学校6年生の総合的な学習の授業時間にオリジナル福生ドッグを作る取り組みが実施された。6月24日には福生ドッグ取扱店の店主と事務局が講師となり、「福生ドッグ」の成立ちや思いを説明。
担当教諭より、地産地消への理解と推進、地域に対する郷土愛を育むことができたとの報告を受けた。
12月22日に市内全小中学校向け給食メニューとして「メリ・クリ福生ドッグ」が提供された。
- ③ イベント出店用横断幕（W180cm×H90cm）を新規に1枚作成した。

小規模事業者経営改善資金利子補給交付事業

商工会の推薦により日本政策金融公庫から小規模事業者経営改善資金貸付（マル経融資）を受けている一定条件を満たす市内小規模事業者に対し、利子補給として補助金を交付する事業を実施したが、申請はなかった。

利子補給率 50%
交付期間 金融公庫の融資実行後、当初3年間
利子補給対象 0件

住まいの省エネ・バリアフリー住宅改修等工事費助成事業

省エネ・バリアフリー住宅改修に係る工事支払額の20%相当（限度額20万円分）及び住宅改修に係る工事支払額の10%相当（限度額10万円分）を助成した。

助成実績 78件 7,127,000円

業種別振興事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、商業部会、工業部会、建設業部会、青年部、女性部の各部会等で中止とした事業もあった。

第33回インターナショナルフェア

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

福生蔵開き

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

2 青梅線沿線地域産業クラスター協議会

青梅線沿線地域産業クラスター協議会とは、JR青梅線・五日市線・八高線を沿線とする西多摩地域の各自治体、商工会議所・商工会及び一般社団法人首都圏産業活性化協会（TAMA協会）による産業支援のためのネットワーク組織。

令和3年度においては、「合同企業説明会（中途採用向け）」を対面式で実施し、また、「新入社員・中堅社員・管理監督者研修」、「中小企業向けオンラインセミナー」、「企業視察見学会」をオンライン形式で実施した。

なお、「ポータルサイト運営事業」についても実施した。

3 創業支援事業

商店街振興策として、市内商店街への創業を促進するとともに、市内の空き店舗を活用し、

新たにコミュニティビジネス事業等を創業しようとする者に対し、出店に係る経費の一部を補助することにより活力ある商店街づくりの推進を図った。

福生市空き店舗活用補助金

区 分	実 績
補助件数	6 件 (家賃・広告費・備品費等)
補 助 額	2,806,000円 (家賃・広告費・備品費等) ①令和2年度決定者に対する家賃補助41,000円×12か月＝492,000円 ②令和2年度決定者に対する家賃補助41,000円×12か月＝492,000円 ③令和2年度決定者に対する家賃補助41,000円×12か月＝492,000円 ④令和2年度決定者に対する家賃補助27,500円×12か月＝330,000円 ⑤令和2年度決定者に対する家賃補助41,000円×12か月＝492,000円 と広告費補助8,000円の計500,000円 ⑥令和2年度決定者に対する家賃補助39,000円×12か月＝468,000円 と備品費等補助32,000の計500,000円

4 消費生活

(1) 消費生活相談 毎週月・水・金曜日実施

年 度	相談件数
令和3年度	202 件
令和2年度	241 件
令和元年度	258 件
平成30年度	231 件
平成29年度	192 件

相談件数順位 年度	1 位	2 位	3 位
令和3年度	教養娯楽品 (20 件)	保健衛生品 (17 件)	金融・保険サービス (17 件) ※同率2位
令和2年度	運輸・通信サービス (38 件)	保健衛生品 (26 件)	食料品 (18 件)
令和元年度	運輸・通信サービス (60 件)	商品一般 (47 件)	食料品 (19 件)
平成30年度	運輸・通信サービス (52 件)	商品一般 (46 件)	他の役務 (15 件)
平成29年度	運輸・通信サービス (44 件)	商品一般 (16 件)	レンタル・リース (15 件)

※相談件数順位は、相談種別が多岐にわたるため件数の多いもの3位までを記載

「教養娯楽品」：スマートフォンやスポーツ用品、パソコン関連商品に関する相談等

「保健衛生品」：化粧品の定期購入に関する相談等

「金融・保険サービス」：カードローンの支払、CO₂排出権取引の相談等

「運輸・通信サービス」：アダルトサイト、架空請求の相談等

「食料品」：健康食品やダイエットサプリメントの定期購入に関する相談等

「商品一般」：商品やサービスの特定できない架空請求、行政機関を装ったメール等

「他の役務」：個人情報削除、ワンクリック請求解決時トラブルの相談等

「レンタル・リース」：賃貸アパートの相談等

(2) 消費生活啓発事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消費者セミナー及び消費者展は中止とした。

5 就業支援

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年実施しているハローワーク青梅と共催の就職面接会は中止としたが、東京しごとセンター多摩と共催の就職面接会は実施した。

年度	区分	参加企業数	面接人数
令和3年度		10社	8人
令和2年度		中止	
令和元年度		20社	97人
平成30年度		20社	142人
平成29年度		20社	73人

6 農耕地・農家戸数

(単位：a)

農耕地面積								
年度	区分	水田	普通畑	果樹園	桑園	茶園	その他	合計
令和3年度		0	1,040	75	2	17	70	1,204
令和2年度		10	1,076	75	2	18	71	1,252
令和元年度		10	1,069	75	2	28	75	1,259
平成30年度		10	1,107	75	2	28	75	1,297
平成29年度		10	1,137	120	2	28	50	1,347

※市外農耕地を含む。

農家戸数									
年度	区分	5a未満	5～10a未満	10～20a未満	20～30a未満	30～40a未満	40～50a未満	50a以上	合計
令和3年度		2	18	14	8	5	8	3	58
令和2年度		2	17	13	9	5	9	2	57
令和元年度		3	16	13	12	4	7	3	58
平成30年度		2	15	14	12	4	8	3	58
平成29年度		0	15	16	13	4	8	3	59

7 経営戸数

年度	区分	そ菜経営戸数	植木生産経営戸数	花き生産経営戸数
令和3年度		58	39	14
令和2年度		56	38	15
令和元年度		55	35	16
平成30年度		55	35	16
平成29年度		56	35	12

※「植木生産経営戸数」とは、「樹木・果樹生産経営戸数」を指す。

8 草花苗生産委託

苗の種類	生産委託株数
サルビア	7,200
ペチュニア	7,200
マリーゴールド	15,600
パンジー	13,750
葉ボタン	6,500
ビオラ	13,750
合計	64,000

9 市民農園

農 園 名	設置区画数	使用区画数	使用率	契 約 期 間
熊川武蔵野第二市民農園 (平成23年4月1日開設) 面積 625.00 m ²	36	36	100.0%	令和4年3月1日から 令和7年2月28日まで
熊川牛浜市民農園 (平成23年4月1日開設) 面積 220.00 m ²	18	18	100.0%	〃
熊川北市民農園 (平成25年4月1日開設) 面積 300.00 m ²	23	23	100.0%	〃
福生武蔵野市民農園 (平成25年4月1日開設) 面積 2,184.17 m ²	131	131	100.0%	〃
福生奈賀市民農園 (平成25年4月1日開設) 面積 1,000.99 m ²	83	83	100.0%	〃
熊川東市民農園 (昭和49年3月1日開設) 面積 2,330.00 m ²	186	186	100.0%	令和2年4月1日から 令和5年2月28日まで
南田園第二市民農園 (平成22年4月1日開設) 面積 248.75 m ²	17	17	100.0%	〃
合計	494	494	100.0%	—
前 年 度 合 計	492	492	100.0%	—

10 多摩・島しょ広域連携活動助成金事業

福生・昭島地域の未来をつなぐ協議会

事業名	つなぐ×ミライ プロジェクト
事業内容	<p>令和3年度より、東京都市長会多摩・島しょ広域連携活動助成金を活用し、福生市・昭島市・福生市商工会・昭島市商工会と連携した協議会を発足させ、地域事業者数の維持と強化、持続的な産業振興を図っていくため事業承継支援と創業支援に取組み、スケールメリットを活かした地域の活性化を図り持続的な事業経営を推進した。</p> <p>① 創業支援 創業セミナーを対面型で1回(参加者数：11名)、オンラインで4回(参加者数：35名)実施した</p> <p>② 事業承継 意識調査の実施 調査対象：4,883件(うち郵便物の到達確認済みは4,549件) 有効回答：1,171件(回収率25.7%)</p> <p>③ 協議会広報用ポスターの作成 A2版のポスターを50枚作成し協議会の存在を広く周知した。</p>

11 福生市プレミアム付商品券事業

(1) 概要

福生市商工会と連携し、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、落ち込んだ地域経済及び域内消費の早期回復を図るとともに新しい日常における市民の生活応援として、地域消費喚起を促す「プレミアム付商品券」事業を実施し地域経済の活性化を図った。

商品券販売価格	10,000 円(利用額 13,000 円)
プレミアム率	30%
商品券発行総数	30,049 冊
商品券発行総額	390,637,000 円
商品券利用額	389,199,500 円
取扱店舗数	243 店舗

(2) 福生市商工会補助金

事業費 (プレミアム分)	89,815,269 円
事務費	11,204,695 円
合計	101,019,964 円

12 キャッシュレス決済ポイント還元事業

(1) 概要

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けて落ち込んだ地域経済の消費喚起を促すため、福生市商工会が実証実験として行なうデジタルの力を活用したポイント還元事業に対して補助金を交付し、市内事業者支援及びキャッシュレス決済を推進した。

(2) 福生市商工会補助金

事業費 (ポイント還元分)	29,600,252 円
事務費	2,426,333 円
合計	32,026,585 円

13 事業者向け感染症対策強化支援事業

(1) 概要

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、経済活動への影響が生じている市内事業者に対し、継続的に感染症対策を強化できるよう、感染症対策物品等の購入費等を支援するため、一事業者当たり最大3万円の助成金を交付した。

(2) 実施期間

令和3年10月1日から令和4年2月28日まで

(3) 事業実績

交付件数：594 件

交付金額：16,644,000 円

(4) 交付決定事業者 業種別件数及び割合

No.	分類	件数	割合(%)
1	サービス業	166	27.95
2	飲食業	120	20.20
3	卸売・小売	113	19.02
4	建設業	67	11.28
5	保健衛生事業	47	7.91
6	製造業	32	5.39
7	不動産賃貸業	31	5.22
8	運輸関係	6	1.01
9	情報通信業	5	0.84
10	電気、ガス、蒸気及び空調供給業	3	0.50
11	金融・保険業	2	0.34
12	農林漁業	1	0.17
13	その他	1	0.17